



## 九州本部拡大委員会開催!

### 「コロナ禍でも諦めず要求を前進させよう！」

二月八日長崎ブッリクホールにおいて九州本部拡大委員会を開催しました。また前段に労働講座も開催しました。本委員会には中央本部から松川委員長も参加し情勢報告を行いました。

今回の委員会は緊急事態宣言が延長されるという状況で開催が心配されましたが、会場を広く取り、蜜を避ける中で開催することにしました。また、鹿児島地区本部の委員はリモート参加となりました。



## 委員長挨拶

4点について訴え挨拶としたい

①組織拡大について、新執行部が誕生して8名の組織拡大を行ったが、残念ながら昨年拡大する事ができなかった。どこに問題があるのかもう一度点検し拡大に向けて奮闘しなくてはならない。若い力の発行やニュースなど出しているので拡大に利用して欲しい。九州本部も不転の決意で奮闘する。

②21春闘勝利についてJR九州の現状、第三四半期決算をみるとコロナの影響を受けて大幅な赤字が出ている。通期見直しも同じだ。しかし、これまでの業績の良い時でも我慢してきた状況、昨年の期末手当の低額回答

がある。九州でも春闘を盛り上げるため3月3日に決起集会を計画し、コロナ禍であっても大幅賃上げについてはこのままで闘いを進めていきたい。中央員会で決定された内容で、ベア5千円を2月12日に申し入れし、3月14日の回答目指して奮闘する

③安全安定輸送の取り組みについて、安全問題については、通年闘争として取り組みをしていく。ダイヤ改正では筑肥線6両ワンマンをはじめ駅体制の効率化を促進している。問題点があれば小さなことでも声をあげ交渉できるようにして欲しい。安易な合理化は認めないで闘いを進める。

④平和と民主主義を守る闘いについて、菅政権が誕生したが、学術会議任命拒否問題など前政権以上の強権政治を行っている。政治と金の腐敗政治、コロナ問題での失政など支持率は下げ止まりが効かない現状である。今年10月までには、総選挙が予定されている。

立憲野党との共闘で、菅政権を倒し、新たな政権を目指して奮闘しなくてはならない。21春闘と結合し組織拡大について、九州本部も奮闘することを決意し挨拶とした。

## 労働講座「核廃絶と長崎県内での取り組み」



今回は地元の県議会坂本議員より、被爆から75年を迎えた長崎の取り組みを学習しました。特に1月22日に発効された「核兵器禁止条約」の重要性について触れられ、全文に「ヒバクシャにもたされた受け入れがたい苦痛と被害」とあるように、これまでの運動の成果が実った内容であること。世論調査でも70%が賛同していることを報告されました。しかし、日本政府の反対姿勢とオプ参加にも慎重なことを批判して、今後核兵器は絶対悪という「悪の烙印」を定着させて「使えない兵器」にしていくことが重要であること。貴重な一步として、核保有国に粘り強く働きかける必要性を訴えました。